

Eastspring Asia Now

Vol.18

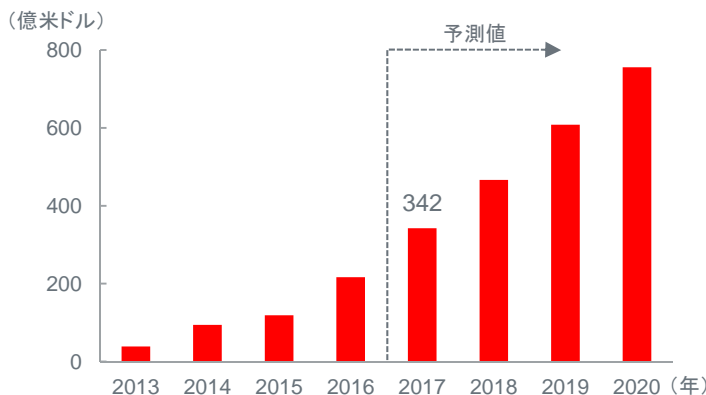
インドのディワリと消費

eastspring
investments

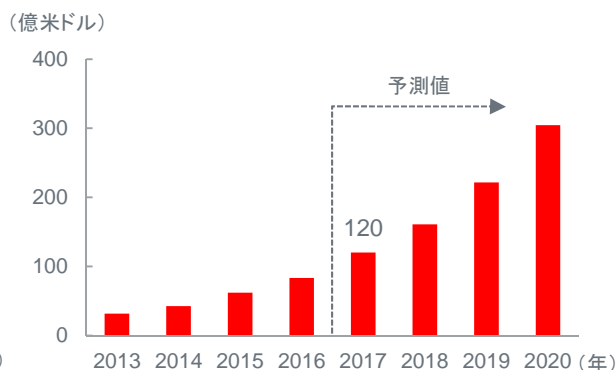
インドの“お正月セール”からみるeコマース市場の拡大

- ▶ Diwali(ディワリ)はインドのお正月(ヒンドゥー教新年)で、年間を通じて最大のイベントとなります。2017年は10月19日(木)がディワリにあたり、金融市場も19、20日が休業日(19日は1時間の特別セッションを実施)となりました。(正式にはディワリの祝日は5日間で、今年は17~21日となりますがそのうちの一部が休日となっています。)
- ▶ ディワリは、富の女神Lakshmi(ラクシュミー)をお祝いする日でもあるため、この時期にお金を使うことは縁起が良いとされ、多くのお店でディワリセールが行われます。ディワリの期間はほとんどのお店が休みとなるため、ディワリセールはその前月からディワリ当日くらいまでとなるのが一般的です。今年のディワリセールは9月中旬からスタートしました。

インドのインターネット小売売上高の推移



インドのモバイル決済額の推移



出所: Euromonitorのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

急速に伸びるインドのeコマースと今年のディワリセール

- ▶ インドのeコマース市場は、インターネットや携帯電話の高い普及率、オンライン決済のインフラ整備などが後押しし、急拡大しています。同市場のシェアは、フリップカート(2007年設立)、スナップディール(2010年設立)、アマゾン(2013年にインド参入)の3社が市場の約8割を占めています。2016年の市場シェアはフリップカートが36~38%、アマゾンが28~30%、スナップディールが11~13%となっています。
- ▶ 現地の報道によると、今年のディワリセールでのeコマース市場全体の売上高は前年比約40%増の28~29億米ドルの見込みです。また、フリップカートがディワリセール時期の市場シェアを伸ばし、アマゾンを制した模様です。
- ▶ インドにおける決済は現金が主流でしたが、昨年11月に流通紙幣の8割強を占めていた1,000ルピー(約1,700円*)札と500ルピー札の使用が廃止されたことも、eコマース市場拡大の一因となっています。

出所: 現地報道等に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。上記銘柄については、あくまでも市場における代表的な企業を示したものであり、当該銘柄の売買を推奨するものでもありません。*1ルピー=1.7円として算出。

【市場を後押しする海外からの出資】



ソフトバンクグループの孫正義社長は、自らが設立したテクノロジー投資ファンド「ビジョン・ファンド」を通じて、フリップカート・グループに約25億米ドルを投資しています。また、ソフトバンクはスナップディールの筆頭株主でもあります。

中国のアリババもインドのモバイル決済サービス「Pay(ペイ)tm」に出資しており、こうした海外投資家からの出資がインドのeコマース市場の発展を支えています。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社は関係がありません。

英国ブルーデンシャルグループ